

時は戦国
ところは南都

先の大乱より
百年たちますが
世はまだまだ
おさまりませぬ

巫女の口
ききなさらんかえー

巫女の口
ききなさらんかー

ここか？
有難い歩き巫女様の
いてはんのは

あ
ご祈禱ですか？
口寄せですか？

明日オカンが
竈の御祓いをつてな

ありがとうございます

しかし今日は俺に
夜のご祈禱頼むわ

今もおふたかた
お祈り中ですが
お相席でも？

…かしこまり
ました

はい
もうおひとかた
ご勧進ー！

はい…

陽物の氣を増す
特別な
ご祈禱です

子孫繁栄
精力回復

諏訪のタケミナカタ様
白山のククリヒメ様が
きつと叶えて
くださいますわ

忍ぶれど艶は

戦国の世に隠れ咲く
妖艶淫蕩の花、
乱れる

商業誌
初登場!!

晴永牧兎

HARENAGA MAKITO



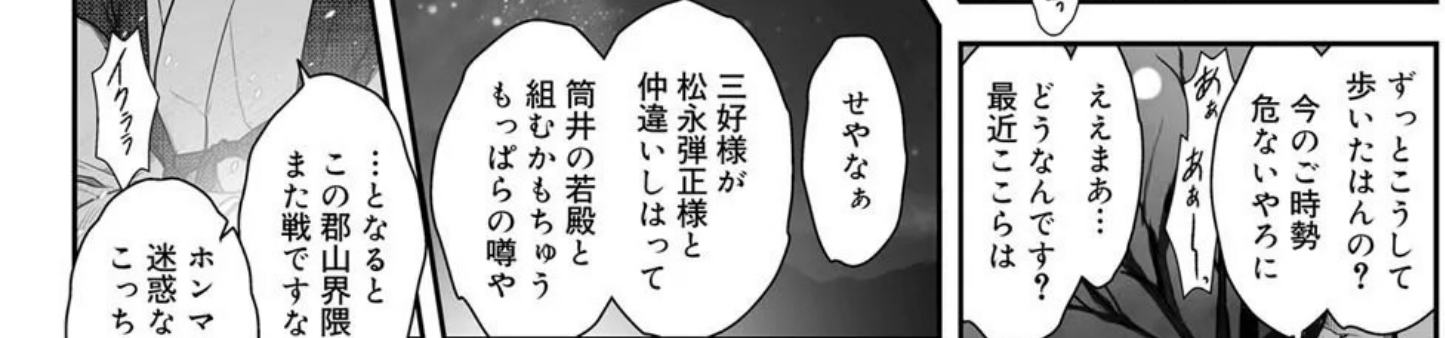
まだ遊郭と言つものが
発展していなかった
この時代
農民たちに
春を売っていたのは
主に諸国漫遊の芸人や
巫女たちでした



色が白うて
奇麗やのう
さすが雪国の
女はちやうわ

おそろも最高
ホンマ定命が
のびる心地やで

※現在1565年初夏
先日、松永久秀と三好氏で
足利將軍を暗殺したところ。



せやなあ

三好様が
松永弾正様と
仲違いしはって

筒井の若殿と
組むかもちゆう
もっぱらの噂や

…となると
この郡山界限も
また戦ですな

ホンマみい
迷惑な
こっちゃで…

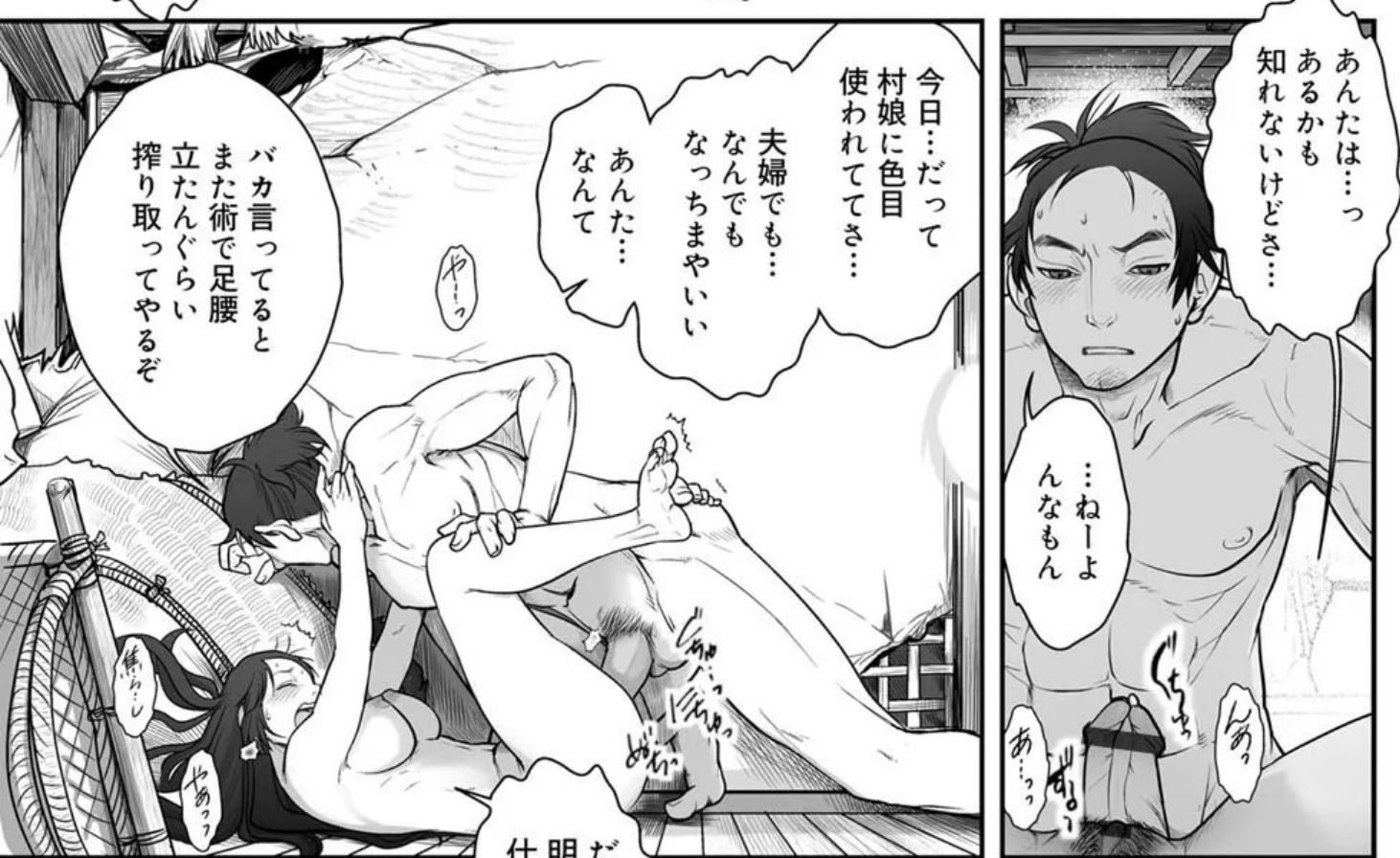


ずっとこうして
歩いたはんの？
今のご時勢
危ないやろに

ええまあ…
どうなんです？
最近ここらは

みい = 大和弁間投詞
～なあ、程度のニュアンス
おそろ = 大和弁で女陰の事







そんな簡単に
いくなつて
言つてんだろ
バカ

そんなこつちや
男は
たらしこめねえぞ！

は...ひい

ぐ...ごめ

ごめん...っ

でも...
あんたの...
凄い...のお

今日も
俺の勝ちだな
ま○こに
欲しかったら
ちゃんと先に
俺をイカせろって
言つてんだろ？

ん？



ひろ...い

ひどかねえ
これも俺の役目だ

まったく
俺が鍛えて
やらんとなあ...
おめえは



これが
私達に定められた役目
やめられるはずもない
だったらこれでいい

どんな想いが
あつても
言つべきでない



...そのように
私達はずっと
一緒にいる

諸国を巡り
男を取つて
その後抱き合う

監視...
術の修行
様々な理由をつけて

私達は
「忍び」のものなのだから

来た？

ああアレだ

供も一人…
伝言通り

支度はいいか？
お兎野

おや？

何やら
笛の音

？ 神職は
居らぬ筈では…

すっかりこの社も
さびれておるなあ

悪党が巢食って
おったとか…

しかしここにとの
御母上のお奨め
参りましょう

！ おお…

これは
見事な

これは
良いものを
見た

美しい神楽舞を
こんなところで
見られるとはな

この御社の
あわれなさまに
ついひとさし…

旅の巫女か？
そちらの笛も
見事で
あったぞ



お待ち申しました

若様の戦勝祈願を
お手伝いするよう
仰せつかりました

これより
奥で特別に
ご祈禱させて
頂きます

なるほど
では

御伴の方には
お待ちの間
御神酒をどうぞ

真っ暗
じゃのう

お待ちを…
今窓を

ではまず
衣をすべて
お脱ぎ下されませ

な
何っ!?

さ
早う

若様の金摩羅に
見事いくさ神の
御加護を下します

この蜜壺に
存分に矢を

そ…そういうことか!
しゃあしゃあと…

ならば事情も
知っておるだろうが!

こ…これも
母上の仰せか!

あら…
おなごの肌の
見はじめでも
ありますまいに

ええ…でも
とかくは申しませぬよ

お察し
申しますぞ

そうそう
ぐいっと

『酒に対しては
当に歌うべし
人生幾何ぞ』

曹操か…

『何を以て憂いを解かん
唯だ杜康有るのみ…』

おのこ同士は
武家の一様のおん嗜み

ただそれだけでは
新妻様が御不憫と
案ぜられての事…

(曹操「短歌行」)

わかっておる！
しかし程なく出陣
万一あらば…

痛い思い出ばかり
妻に遺すは不憫ぞっ
最初のうちは
痛いのであらう!?

ええ…
まあ多少は

でも想うお方のなら
何ほどの事も…

何より夫たる人に
抱いてもらえぬ方が
後々までかなしいもの

そこで若様への
その道の御指南を…と
仰せつかりました

なに…
恐れることなど
御座いませぬ

抱いて…
くださりませ

さもなくば私が
御母上様に御勘気を
蒙りまする…

ど…どうじゃ？

お…御上手ですっ

普通はじめては
がつくばかりで
とてもこうは…っ

挿れようと
するばかりで…っ

強引に
押さえつける
ばかりで…っ



あゝ
ああ
くる…っ！

わ…
わしももう
挿れたい…
女というものに
入れてみたい！

ど…どうぞ



あ…っ
若様…
もつと
ゆっくり

うあ…っ

手と口で優しく
なだめつつ…
奥までゆっくり



おのこ同士も
はじめては痛う
ございましたらう
それと同じ…

はじめて…なら
このあたりで詰まって
痛いと言えますが…

ふふ…
初夜の稽古は
ここまで
あとは
おなごの良さを
とくと味わって
頂きましょう





闇雲に
奥だけでは
いけませぬ…っ

そこっ

ああっ

そこです…

そう…っ

あう

ぐちよぐちよと…
円を描き
かきまわして…っ

そう…
奥…っ

いいっ
いいですう

わ…儂のは
そんなに良いかっ!?

はっ
はいいっ♡

あああっ

み…見てっ
聞いてっ

わ…わたくしの
感じている…ところを

互いに目をあい交わし
息を合わせることが…

それが夫婦の情を
育てるのです…っ

はぁあ

じゅぽん

くちゅ

じゅぽん









ご苦労
おたつ殿

…どうした

…思い出しちゃった



やめてよ
んなつもりないわよ

ちゃんと
帰ってつたぞ
…報告か？

心配装ったら
結構べらべらと
喋ってくれたしね
どうよ？ この手管



御褒美に
今晚は
臆に出してな

今は
夫婦やもん♡

…しやあないなあ



…ホント
あの時はがつつく
ばかりで

早漏でねえ

…ねえ
惣ちゃん

つせえな
お兎野

今は
違うだろが



はいはい
万一追ってくると
いけないし
早く行こ

暫くは商人の
めおともの
夫婦者なんだから
間違えないでよね

三の国の
言葉だね



わあつとるわ

…斑鳩へ降りて
宿なり探そか

その昔 武田の命で
諏訪の歩き巫女が
忍びに組織され
情報収集に用いられました

彼女らは明治の頃まで
歴史の裏で
活動していたと
伝えられています

忍ぶれど艶は★END

かつて戦国の世に
歩き巫女と呼ばれる
流浪の巫女たちが
諸国を巡っていました

彼女らは数人組での
旅の途中で
様々な事を行いました

御札を
配って回ったり
御祓いをしたり
舞を披露したり
占いをしたり

そして
時には…

こら兎野
逃げんな!!

これも
修行だろがっ

!?
兎野!?

どうした
腹痛か!?

あいつ今日が
初めてなもので

…いや…
…惣介

…あんたの子…

永禄の世を彷徨う、
淫蕩の宿命を背負いし巫女—！



忍ぶれど
艶は

晴永牧兎

再登場!!

第六話





縁あって
望月の奥方様にお前と
巫女見習らを差し出し五年

これからますます
本腰で歩き巫女を
育てよとのお言葉だ
しかしわしも体が…



しつこいな
望月様のお役目って
もんがあるって
言ってるんだろ
跡継ぎなら
弟も…



お志津と安岐の
腕がバラバラなの

こう
ね

ひおうぎ
檜扇も綺麗にさ



駄目
もう一回よ



そうだよ惣
忍びなんて辞めて
ここに帰っておいで！

断る！

巫女を束ねる
抱主が要るのだ！
望月様には既に
願ひ出てある
許しも出よう



もう
いいじゃない
お兔野く



惣！
お待ち！
もう行くのかい
せめて晩飯くらい…
そんな薄着で











この千代女を
侮るでない

ほほ
可笑しい事

あの女子は
芯から淫蕩

わけでも房術では
一番役に立とうと
目をかけておるのに



忍ぶれど
色に出でにけり…とは
よう言うたもの

好いた女子が
他の男に抱かれるのを
見て居られんと
言うのかえ？



三つ者にせなんでも
歩き巫女なら
春をひさぐ
ものではないか

お兎野は…そうです

それを期待され
拾われたもの…

…俺は
だから家を
継ぎたくない

それで稼いだ金で
暮らすなど…

惣介
聞き分けの無い！



ここは冷える…

…続きは
部屋で聞こうぞ



それゆえ…
せめて三つ者として
鍛え使っていただけなら
十三よりお使えしてきました

それを今更…！

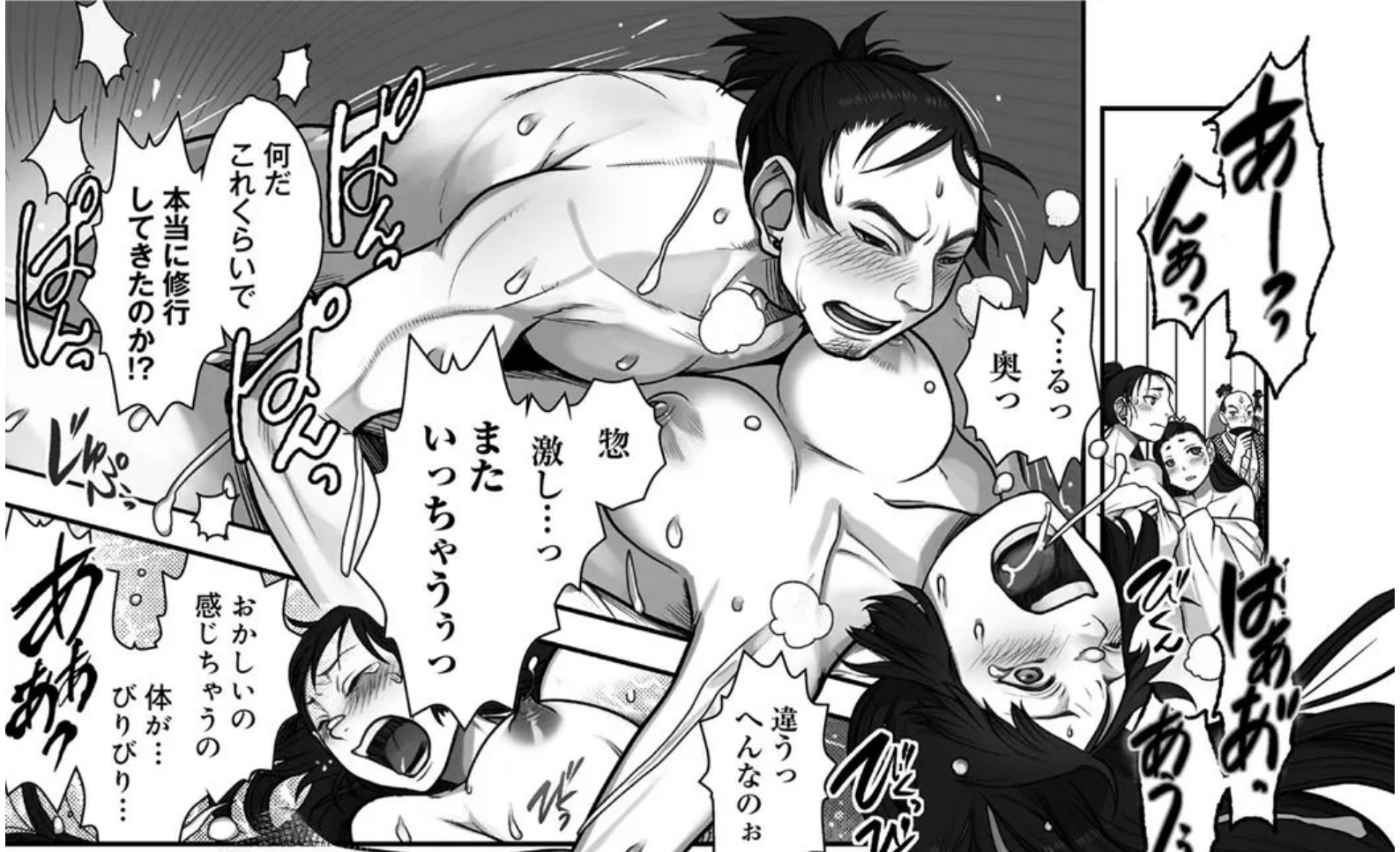
せめて
それなら…！











あーっ
んあ

く……るっ
奥っ

何だ
これくらいで
本当に修行
してきたのか!?

惣
激し……っ
また
いっちやううっ

おかしいの
感じちゃうの
体が……
びりびり……

違うっ
へんなのお

ぽああ
びんあう



嘘……お
前……の時は
すぐ……果てて

痛いっても
なんど……も

余計な事
喋んな!

それと
勘違いすんな
この淫売

俺の今ひとつの役目は
お前に男を
斡旋することだ

望むなら
いくらでも
抱いてやる

だが俺が
見つけた客にも
抱かれてもらうからな!

あたし……
あの時……に

黙ってた……けど

……あのときりって
言った……のに
こんな

そんな
そんな事……
家を継ぐのと
大差ないでは
ないですか!

だが役目を果たさば
揃ってお役御免
お前は家を継がず
あれを娶ってよい



誰に抱かれたって…

いい

あたひ
ひゃんとやる

おねが…い

らから

いっしょに
きてえ



請けぬなら？

予定通りあれば
生涯妹の分も
忍び働きじや

のたれ死ぬるかな？
他の男に惚れるかな？

但しあれに
この事は
教えるなよ
ほほほほ！



ああ…っ

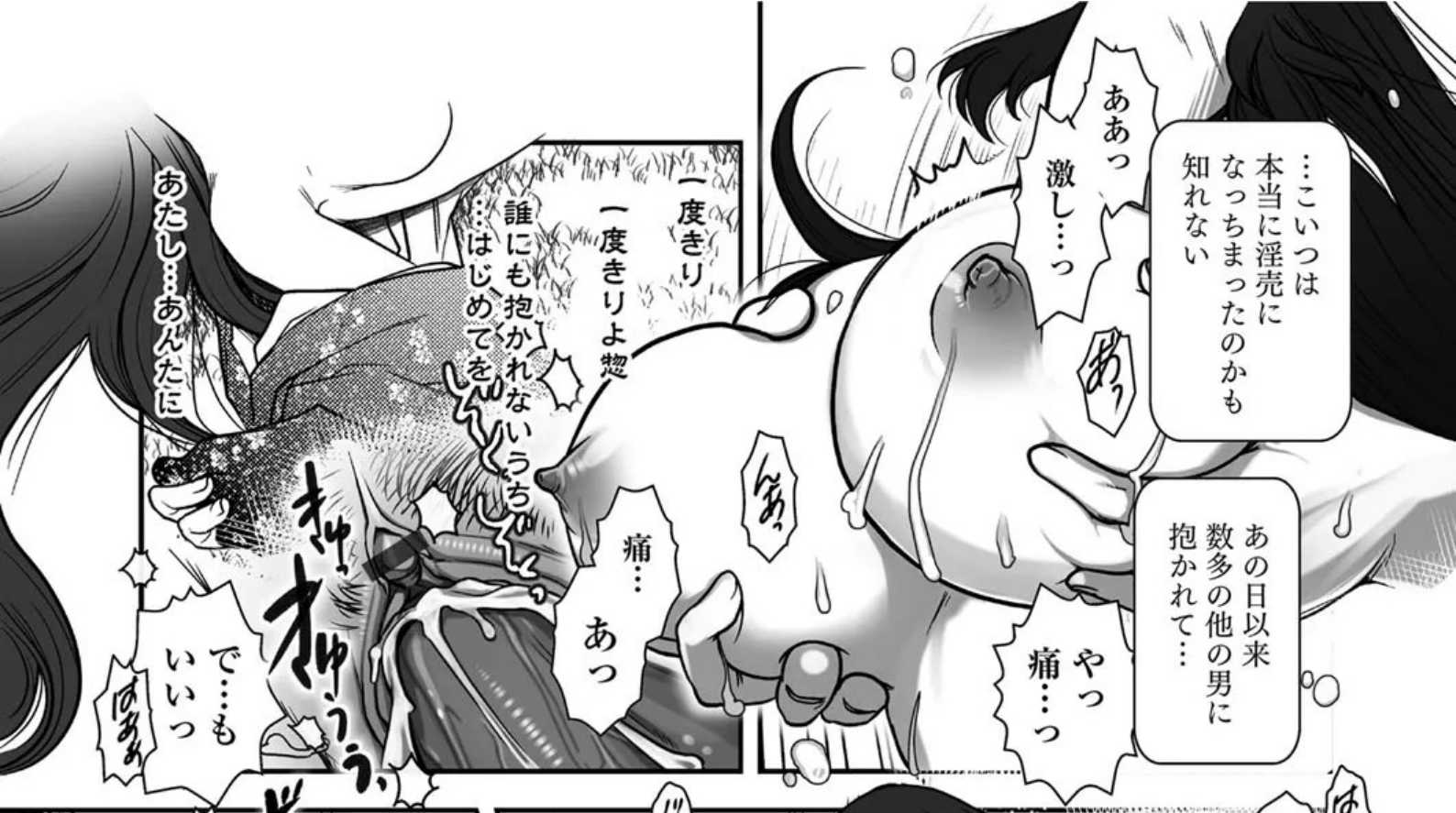
もつとお

もつと

ま〇こ検分してえ

すみずみ…まで
調べてっ

奥っ
奥…
もつと
突いてええ



…こいつは
本当に淫売に
なっちまったのかも
知れない

あの日以来
数多の他の男に
抱かれて…

ああっ
激し…っ

やっ
痛…っ

一度きり
一度きりよ惣

痛…
あっ

誰にも抱かれないうちか
…はじめてを

あたし…あんたに

で…も
いいっ



きもちい？
もう射精そう…でしょ

中…おつきい

あたしも…
もう…

一緒…きてえ

お…兎野

射精して

惣

中

ほあ

惣の子種
中に出して…っ

きつと
言葉で伝えれば
役目も何もかも捨て
二人で溺れてしまう
だから

だから



だから絶対に
耐え忍んでみせる

地獄でもいつか
こいつと極楽が
見られるならば



なんでもいい
地獄を見ても
なんでもいい

天晴れ!

ではこの二人の身柄
この一条信龍が預かった

ずっと共に
居られるなら!

次の春より
畿内取次役の援けとして
存分に働いて
もらおうぞ!

忍ぶれど艶は★END

忍ぶれど艶は

第参話

戦国御伽
絵師!!!

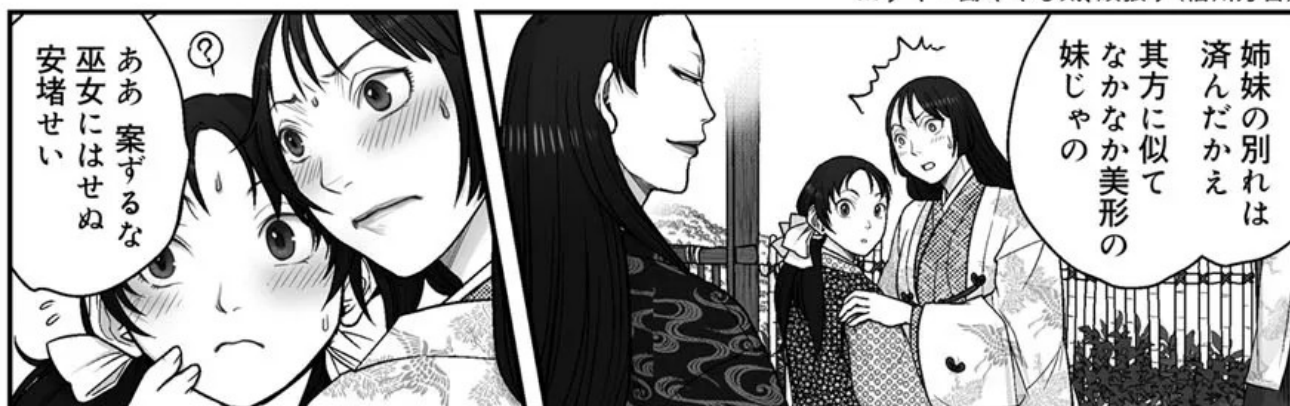
晴永牧兎

運命にもてあそばれし
巫女たちの旅路、再び――





※ずく…働くやる気、頑張り(信州方言)



行って
らっしゃーい！



安岐と志津にも
三つ者の相方がつき
揃って甲府国中まで

そこから三組それぞれの
任地に分かれます



兎野と惣介は
織内取次役である信玄の弟
一条信龍の上京に同行し



同盟国駿河の
田子の浦から船で
西を目指しました



わあ
すごおい！



随分はしゃいで
おるのう



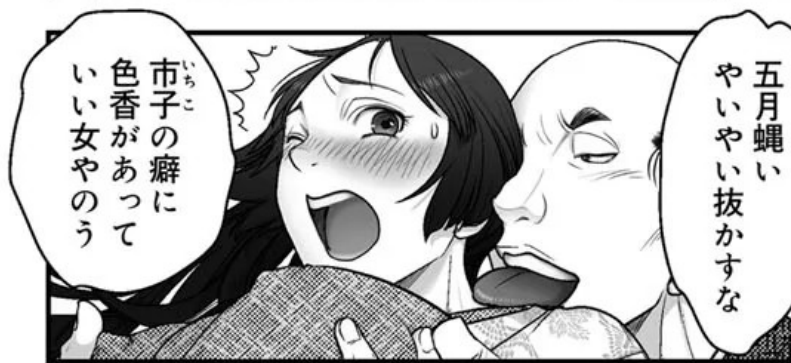
いい喉
してなさるねえ

信濃育ち
だから

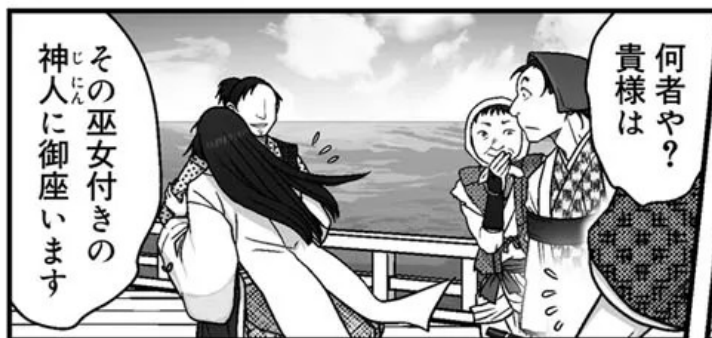
じゃあ景気づけに
一ふし



なんだね
巫女様は船は初めてかい



※市子…歩き巫女の別称。口寄せ等行つて回る。



※神人…雑役などを行う下級神職。僧兵のように武装し強訴を行うこともあった。





ひとが…
体張ってさ…っ

…ずる…い

また先に
寝ちやうなんて



…もつと寄つてよ
狭いの

もお

※避妊には膣に油紙(御簾紙)を入れるなどした。



起きて…
前に言つたじゃない
して



あいつ下手で
…足りないのよお
お願い
ご褒美…



ん…っ

ん

ふ

ん…っ



声出すんじゃねえぞ
ただでさえおめえ
船乗りどもに
目えつけられて…

派手にしたら
押し入られる

う…ん

ひっ

そ…お



ん…っ

う…っ

ん…っ

ん…っ



は
あんな…出発まで
帰ってこなくて

お城の…あれから
忘れられ…

あたし…あたし



う…兎野



あひ…っ

あっ
あっ

くう…

惣…

惣の
ち○ぽ…

やっぱし
いい…っ



兎野

兎野

兎野…

あつ
すご…

あたしのま○こ
あんなに
しがみついて…



…っ
…ああ…

もっと
抱いて

突いて

あたし

溶ける

惣

良すぎて
溶けちゃう



あ
またイク

兎野
声…

ん…っ
そお

ひゅっ…
ん…っ



こうなるのが怖くて
何とか今まで
避けてきたってのに

あああああ

…本気でやっちゃった
しかも膈に…



それでも諦められず
一度きりと犯して
…なんだったんだ

巫女を娶るのを
親父が許さねえから
いっそと家を出て
三つ者になつて



子種…



生まれてこなかった
俺の子

俺の子…

でもそれを明かさぬまま
その日までこいつを
幾人に抱かせないと
ならねえんだろう…

…忍び勤めを終えれば
こいつと一緒になれて
誰憚ることなく毎晩…

桑名で下船し
東海道に入り
甲賀を経て入京

暦はすでに
旧暦六月初頭



わりい
起こしたか

そお…

もっかあ…い



挿れてるだけで
いいの

波でゆらゆらして
きもちい…

京は
祇園社の御霊会

後の世で言う
祇園祭の準備で
もちきりです

さすが京
朝から賑やかなねえ

あんまり
乗り出すなよ
落っこちるぞ

しかし朝から
あちいな

ねえ後で
あちこち見て
回ろうよ

いいけど
遊びじゃねえぞ
噂を集めにだぞ

わかってるって

わあ
楽しみ

昔みんな
御諏訪様のお祭り
行ったよねえ

危ねえ

くつつくな
あちい

長旅大儀であつたな
早速だがこれを
買いに行かせたゆえ
それぞれ取るが良い

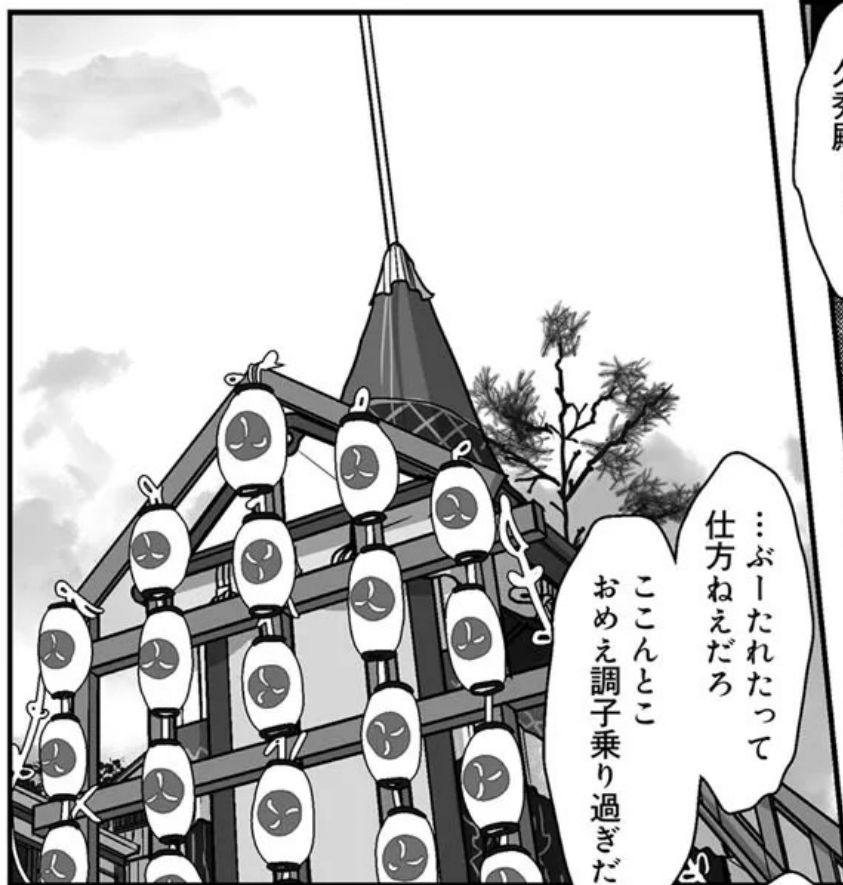
素襖と筆簪

巫女装束の
一揃い

いい生地……!

起きておるか
殿が
揃って呼びぞ

今宵は宵山だが
それを着て
お主等はさる方の
邸へ行って欲しい



場所は
堀川松原下ル

御相手は
当代随一の権勢

まっながだんしうしうひつ
松永弾正少弼
久秀殿……!

……ぶーたれたって
仕方ねえだろ
ここんとこ
おめえ調子乗り過ぎだ



最近勤めに
身が入らぬようだが

まさか否とは
言うまいな?

言ったら
あん時

おめえだって
誰に抱かれようが
付いて来てつったらが

俺が三つ者なるつった時
気軽に自分もと追って
願い出たてめえを恨め

あれがなきや
千代女様が巫女を
忍び働きさせようなど
思いつかなんだかも……

でも……
あんたは
忍びなんて
んなもんだ

心して
技を尽くして
伽してきてくれ





良いか
今から挿れるが
決して気をやるな

接して漏らさず…
達せず気を巡らす
房中術の肝要

二人がかりで
責め抜くぞ

儂^{わし}が射精^だす前
この女が達さば

側女^{そばめ}として貰い受け
たと仕置いてやろうぞ



む

無理

変

壊れ…

おお
極上^{しんぎ}の津液

※津液…房中術では唾液・愛液・カウパー氏液
他、汗や乳首等から出る気を含んだ液の総称。
性交とて内丹を活性化させ
男女これを交換して陰陽を整え
真人に近づくという。

いく寸前で
堪え津液を交換し
神氣を得る

これぞ奥義よ

なんだ
なんか
変なもん
飲んでんのか!?

ああ

ほお

巫女のものなら
一層神気もあるう

おうおう
膺からも良い愛液が

儂をいかせるのが
うぬらの勤めじやろう

ほれもつと
突き上げてみい!

いっ
いっ
いっ

い…く

惣…やめて

いっちやう

ああああ…っ!

おお
肉壁が震えて
嫌々とうねる…

わかるか
これが権力よ

気はたんまり採った

今射精して
精力を浪費はできん
賭けは無しじや

あとは近習らを
とくと接待してやれ!

おお
いい
もう少しじゃ

もう少しで
儂の手に
全て…!!

あ…ひ
ち〇ほ…

いっばいっ

嬉し…
松永…さま
い…



忍ぶれど艶は★END